

## 第9回独立行政法人契約監視委員会

平成28年6月  
独立行政法人経済産業研究所

### 1. 日時

平成 28 年 6 月 1 日(水)13:10～14:10

### 2. 場所

独立行政法人経済産業研究所会議室

### 3. 出席者

#### (1) 委員

白山委員長、向委員、八田監事、鈴木監事

#### (2) 独立行政法人経済産業研究所

中島理事長、田村総務ディレクター、齋木総務副ディレクター、千田  
管理担当チーフ

### 4. 議事

(1) 開催挨拶: 中島理事長

(2) 委員長選考

(3) 経済産業研究所の契約状況について

・平成 27 年度の契約内容及び契約方式の状況

### 5. 概要

(1) 開催挨拶

冒頭、中島理事長から開催挨拶が行われた。

(2) 委員長選考

白山委員が委員長に選任された。

(3) 経済産業研究所の契約状況について、事務局から説明後、質疑が行われた(主な質疑については別紙参照)。なお、個別の契約に対する指摘はなかった。

(別紙)

質問・意見	回答
<b>■競争性のない随意契約理由及び契約価格の妥当性</b>	
<p>&lt;会計システム関連&gt; &lt;経済産業研究所会計業務システム等設定作業一式(売買・役務請負契約):神田通信機株式会社&gt;</p>	
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 随意契約になったのは、社会保障・税番号制度の対応か。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ マイナンバー(社会保障・税番号)制度への対応として、インターネットから切り離してシステム運用する方が、より情報セキュリティの強化につながるため、別のネットワークを構築した。</li></ul>
<b>■一者応札・応募となったものの状況</b>	
<p>&lt;委託調査&gt; &lt;平成27年度「企業・従業員マッチパネルデータを用いた労働市場研究調査」に関する委託契約:株式会社東京商工リサーチ&gt;</p>	
<ul style="list-style-type: none"><li>・ この調査は、頻度や実施期間は、あらかじめわかっているのか。</li><li>・ すると、落札業者も今年度で終了するかもしれないし、継続するかもしれないといった状況のなかで、契約しているということか。</li></ul> <p>(一者応札・応募の全体状況)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 総合評価方式の、価格点と技術点の割合を確認したい。</li><li>・ 27年度一者応札・応募となった落札率について、それぞれ確認したい。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 研究の動向や RIETI でのプロジェクトとの関係もあり、何年間続くという「見通し」はわかっていないので、期間等について触れていない。</li><li>・ その通り。</li><li>・ 価格点1の技術点2である。</li><li>・ 落札率をそれぞれ回答。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・ &lt;データベース購入・利用&gt; &lt;統計分析ソフトウェア「Stata/MP14(2-core)旧バージョンからのアップグレード」ネットワーク50ユーザー分-売買契約:株式会社ライトストーン&gt;</li></ul>	

<ul style="list-style-type: none"> <li>（販売業者のうち）全省庁統一資格を有していない業者は、今後も取得が見込まれないということか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>取得意思がないとの回答状況である。</li> </ul>
<p>&lt;職員派遣契約&gt;</p> <p>①ウェブ・編集担当(27/5/19～1年間予定):株式会社オレンジネット</p> <p>②広報・編集担当(27/5/20～1年間予定):株式会社リクルートスタッフィング</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>募集期間は、10日より長めに確保しているということだが、まだ期間が短いといった反応が業者からあったりするのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>募集期間は、比較的長めにとっており、（現在の状況に関して）短いといった反応はない。</li> </ul>
<p>&lt;競争環境について&gt;</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>（業者担当者がスケジュールを失念する可能性もあることから）説明会参加者に対してスケジュールの再確認連絡などを行ってはどうか。</li> </ul> <p>（業者側からの視点において）優先順位の観点からみると非常に高額で重要な案件では、スケジュールを固めて、複数の人が関わってやるが、そうではない案件となると、1人の担当者の方が窓口になるといった対応にもなる。その場合、その人が忙しい状況で、入札日に対する認識はあっても、説明会日や事前資格申請書類の提出に関してとなると、スケジュール管理のレベルが一段落ちる可能性としてはある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>説明会参加者へのスケジュール再連絡など、業者側の失念に関する可能性を抑えられるよう、工夫を行っていきたい。</li> </ul>